

9. 四国（地域別調査機関：四国経済連合会）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連	良くなる	衣料品専門店（経営者）	・商品の動きが良く、今までと比較し変化が見られる。今後もボーナスが支給され、この動きは続いていく。
		その他専門店〔酒〕（経営者）	・暑くなり、ビールなどの飲物やお中元のギフトが期待でき、売上が上昇する。
	やや良くなる	コンビニ（店長）	・雨が少なく暑い日が続くと、アイス、飲料関係の売上が上昇する。
		コンビニ（店長）	・来客数が安定しており、商品を吟味しつつも、購入量を多めにする客が以前より増えてきた。
		家電量販店（店長）	・エアコンは良く売れ、薄型テレビも単価の下落はあるが、好調に推移する。
		家電量販店（営業担当）	・エアコン以外にも冷蔵庫や洗濯機は、客の反応が良く、期待が持てる。
	変わらない	設計事務所（所長）	・シニア向けのビジネスの先行きが明るい。
		商店街（代表者）	・昨年オープンした、郊外のシネマコンプレックスの影響も一段落し、徐々にではあるが、商店街の空き店舗に入居がみられる。景気の上昇は望めないものの、一服感がある。
		百貨店（総務担当）	・男性がプレゼント用を買うアクセサリーが減っている。また、単価も下がっており、消費に対して慎重な行動は続く。
		百貨店（営業担当）	・個人消費がやや活発化するといった明るい傾向は続いていくが、水不足による悪影響が懸念される。
		百貨店（売場担当）	・大企業とは違い中小企業の賞与水準は低下しており、支出には慎重になる。
		スーパー（店長）	・単価が低下していく傾向がまだ続く。
		スーパー（店長）	・客の様子から判断して、現状より良くはならないが、悪くもならない。このまま水不足が進行した場合、現状のペットボトルの水だけでなく、水対策関連商品（水用タンク、水を使わないシャンプーなど）が、動き出す。
		スーパー（企画担当）	・客は日常の生活用品まで、価格をいろいろな店と比較して買っている。また、競合店舗も販促に力を入れており、競争が厳しい状況が続く。
		スーパー（財務担当）	・水不足が深刻な状況になり、水関連商品が良く売れているが、野菜への影響（不足と値上がり）が心配である。
		衣料品専門店（経営者）	・客単価の低下傾向は変わらない。昨年のように残暑が長引くようであれば、シーズン物の立ち上がりが遅れ、売上の前年割れが予想される。
乗用車販売店（従業員）		・秋の終わりまで新製品の投入がなく、このままの状態が続く。	
乗用車販売店（従業員）		・ガソリン価格上昇の影響が、販売に悪影響が出てくるのが懸念される。	
旅行代理店（従業員）		・秋の旅行相談の状況、団体客の動きなどをみても落ち込むような要因は無く、このまま順調に推移する。	
タクシー運転手		・水不足の影響で、夜間断水が始まると、早く帰って、風呂に入らなければいけないなど、ますます飲みに出る人が減る。	
観光名所（経営者）	・夏休みに入り、家族旅行のニーズはあっても、愛知万博に流れる。		
ゴルフ場（従業員）	・客の様子や予約の状況から判断すれば、今の状況が継続する。		
住宅販売会社（従業員）	・所得税の負担増加の懸念から、少し及び腰になっている客がいるため、今の状況が続く。		
その他住宅〔不動産〕（経営者）	・土地の値下がりや購買需要の低迷は続き、しばらく景気は良くならない。		
やや悪くなる	衣料品専門店（経営者）	・所得税の負担増加の懸念が消費意欲を減退させている。	
	都市型ホテル（経営者）	・愛知万博の影響により、客が流れており、予約状況が悪い。また、販売単価も落ちている。	
	観光名所（職員）	・給料が減り、税額控除も減少してきている。	
悪くなる	一般小売店〔生花〕（経営者）	・水不足のため、花に水をやるが大変となる。これからも雨が降らずに断水となると、売上はかなり落ちる。	
企業 動向 関連	良くなる	-	-
	やや良くなる	一般機械器具製造業（経理担当）	・クレーンの稼働率が衰えることはなく、在籍車輛の老朽化による買い替え需要は、着実に増加してくる。
		建設業（経営者）	・見積の機会が多く、受注するチャンスが増える。

	通信業（営業担当）	・消費者の購入傾向が、一部の特定商品から幅広い商品に拡大する傾向がうかがえる。また、景気が上向いて来ているとの声を、客から聞く機会が増えている。
	不動産業（経営者）	・中古住宅や中古マンションの売買が活発になっている。求めている価格は相変わらず低い価格帯で推移しているが、これから少しずつ価格が上昇する可能性がある。
	広告代理店（経営者）	・原油価格の高騰により材料費が値上がり、価格へ反映させることは現状では非常に難しいが、受注は増加傾向にある。
	広告代理店（経営者）	・得意先の新規出店計画及びM&Aによる店舗数の増加が予定され、それに伴う広告展開などの販促活動が見込める。
変わらない	一般機械器具製造業（経理担当）	・一部の地域の排ガス規制による堅調な受注が見込まれるものの、全体的には景気を押し上げるほどのパワーはない。
	輸送業（役員）	・運送業界は石油価格の高騰分を、荷主に対して運賃値上げの要請をしているが、受け入れてもらえない。どの業界も石油価格のコストアップ要因をいかに収拾、処理するかに悩まされている。
	通信業（支店長）	・税制改革により、特別控除制度がなくなる方向性が議論されており、購買意欲が向上しない。
	金融業（融資担当）	・都市部と高知を結ぶ唯一の海上交通が廃止になるなど、暗い話題が多く、リストラによる給与収入の減少から、消費者の購買力は引き続き弱い。
	公認会計士	・建設、飲食、観光、製造などのほとんどの業種において、景気の先行きに明るさがまだみえてこないという意見が多い。
やや悪くなる	輸送業（支店長）	・利用客減に加え原油暴騰の影響を受け地元のフェリー会社が倒産し、6月末をもって大阪航路が廃止となった。輸送のコストアップ要因がまた新たに生じ、未だに価格転嫁ができる環境にならないので、しばらくは停滞モードと先行きの不透明感が続く。
悪くなる	-	-
雇用 関連	良くなる	-
	やや良くなる	求人情報誌製作会社（従業員） 民間職業紹介機関（所長）
		・正社員の雇用が増えたので、それに付帯してパート、アルバイトなどの雇用も増えていく。
		・求人数は3か月前より1.2倍ぐらい増え、新卒、及び中途採用をしたいという企業が増えている。
変わらない	職業安定所（職員）	・新規求職数は前年同月比で2か月連続で増加した。その内訳は、中高年齢者は減少し、若年者、パート求職者、及び在職者が増加している。また、有効求職者数も増加に転じており、厳しい状況が続いている。
やや悪くなる	人材派遣会社（支店長）	・水不足の影響により、働く人のマインドが非常に下向く。
悪くなる		